

## 国際心血管薬物療法学会学術集会で発表を行いました

2016年10月13-16日に中国の北京で開催された合同学術集会 The 27<sup>th</sup> Great Wall International Congress of Cardiology(GW-ICC)が開催されました。私は、その中の一つである The 21st International Society of Cardiovascular Pharmacotherapy 2016 (第21回国際心血管薬物療法学会学術集会) のセッションにて研究成果の発表を行いました。本会は心臓血管疾患を中心に循環器疾患とその薬物療法についての研究を対象とした世界的にも大きな学会である International Society of Cardiovascular Pharmacotherapy (国際心血管薬物療法学会) が年に1度開催する学術集会です。会場は北京オリンピックの際にも使用された北京国家会議センター (China National Convention Center) で、中国国内を中心に世界中から集まった研究者による発表が行われました。

私の発表演題「PRMT5 methylates p300 and induce cardiac hypertrophy」は、タンパク質メチル基転移酵素である PRMT5 が心肥大に重要なタンパク質 p300 のメチル化を介して心肥大を誘導することを培養細胞及び遺伝子改変マウスで明らかにした、というものです。今回は中国で開催されるほかの循環器領域の学会、GW-ICC との共同開催ということもあり、中国語、英語の入り乱れる学会でした。

北京は中国国内でも最高峰の北京大学や大病院が多くあり、中国全土から資本や技術、知財が集まってくる中心地です。多くの人であふれ、多数のビルや商店、アパートがひしめく街並みからも、経済分野に限らず世界で存在感を増す中国の力強さを感じられました。

静岡県立大学薬食生命科学総合学府  
薬学専攻 分子病態学講座  
博士課程2年 宮崎雄輔



関連リンク：静岡県立大学 分子病態学教室 <http://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/byoutai/>  
国際心血管薬物療法学会 (英語のページです) <http://www.iscpcardio.org/>